

地域猫活動をご存知ですか？

広島市動物管理センター

野良猫によるふん尿被害、空き家などで生まれる子猫、猫が好きな人と嫌いな人とのトラブルなど、いま地域を悩ませていることの一つに野良猫の問題があります。

野良猫に迷惑している人、かわいそうな猫がいて心を痛めている人、野良猫にエサをやっている人、それぞれ思いは異なりますが、共通するのは「野良猫を減らしたい」という思いではないでしょうか。



1 地域猫活動とは？

地域にお住まいの皆さんが主体となり、野良猫に不妊去勢手術をするなど適切な管理を行い、野良猫の数を減らすことで野良猫問題を解決し、「住みよい地域」をつくるための活動です。

地域猫とは

地域の理解と協力を得て、地域住民の認知と合意が得られている、特定の飼い主がいない猫。適切に管理することで、これ以上数を増やさず、一代限りの生を全うさせる猫を指します。

2 野良猫にエサをやらなかったらいいのでは？

エサをやる人がいなくなっても、猫は餓死しません。ゴミをあさったり、他の地域に移動したり、住民に迷惑をかけることになります。

3 誰が活動するの？

活動を行おうとする、その地域にお住まいの方々が主体となって行います。

「こんなことを誰がするのか」「自分はしたくない」と思う人は少なくありません。しかし、地域の中には「動物のためなら」「これ以上、野良猫が増えないなら」「住みよい地域になるなら」などと協力してくれる人はいるのではないのでしょうか。

このような人を地域で募り、集まった人を中心に活動を始めていきます。

当然、活動をうまく進めるためには、近所の人々の理解を得られるような配慮や説明が必要です。

4 具体的には何をするの？

① 地域住民の理解を得る。

地域住民の理解がないまま一方的に活動すると、「無責任にエサを与えて猫が増えて困る」「捕まえて虐待しているのではないか」と誤解され、人間同士のトラブルの原因になりかねません。

そのため、まず地域の人々に回覧板等で十分に活動の趣旨を説明し、周知した上で活動を行う必要があります。

② ふん尿の始末をする。

裏面に続く

エサ場の周辺で地域の合意が得られた場所にトイレを設置します。

③ 適正なエサやり

エサを与える時間と場所を限定します。

食べ残しはすぐに片付け、置きエサは絶対にしないでください。

④ 猫の不妊去勢手術を行う。

問題は、野良猫が増えすぎたことによるものです。

猫は、年に2～3回、1回に4～6頭の子猫を産むと言われています。生まれた子猫も生後半年で子猫を産むようになります。野良猫の数を減らすためには、不妊去勢手術が不可欠です。

※不妊去勢手術は、町内会等から要請があれば、動物管理センターが支援します。

5 猫の飼い主さんへのお願い

野良猫を増やさないために、飼い猫には次のことを心がけて下さい。

- ① 屋内飼育をする。
- ② 不妊去勢手術をする。
- ③ 首輪をして身元の表示（迷子札）をする。
- ④ 終生飼養をする（捨てない）。



6 野良猫は行政が捕獲（駆除）しないのですか？

猫は「動物の愛護及び管理に関する法律」によって愛護動物とされており、駆除のための引取りや捕獲はできません。

※犬は「狂犬病予防法」に基づいて、捕獲します。

7 猫侵入防止器の貸出

そうはいつても、ふん尿・いたずら被害にあっているのを今すぐなんとかしたい、という方のために、超音波で猫を寄せつけない器具の貸し出しを行っています。

お電話で予約を受け付けておりますので、お問い合わせください。

◎地域猫活動についてもっと詳しいことが知りたい方は、動物管理センターまでお問い合わせください。



お問い合わせ

広島市動物管理センター

〒730-0043 広島市中区富士見町 11 番 27 号

電話：082-243-6058

Fax：082-243-6276

E-mail：dobutsu@city.hiroshima.lg.jp

2017.6

お問い合わせ

広島市動物管理センター

〒730-0043 広島市中区富士見町 11 番 27 号

電話：082-243-6058

Fax：082-243-6276

E-mail：dobutsu@city.hiroshima.lg.jp

お問い合わせ

広島市動物管理センター

〒730-0043 広島市中区富士見町 11 番 27 号